

○事業所名	ステップアップスペースなっつ
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休みに関しては1日活動を実施し、外出やイベントを実施し、生活能力の拡大、考えて取り組む機会を設けている	利用児に行動してもらう、考えてもらう時間を意識的に設けている 利用児の想いを聞きながら自己選択をする機会を設けている	職員全員が同じ対応ができるように、目標の認識や関わり方についての情報共有をより強化していく
2	固定させないプログラムの実施	1ヶ月を通して、身体を動かす活動、制作をする活動、考えて取り組む活動を経験できるようにしている	利用児たちが楽しめる活動を引き続き考えていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり合いを持てる機会が乏しい	対応できる職員の不足、ならびに情報収集や関わり合いを持てる機会が少ない	地域でのイベントについての情報収集を行う
2	保護者同士の関わり合いが持てる機会が乏しい	対応できる職員の不足	計画的に取り組んでいけるようにする

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				身体を動かせるスペースが充実していて楽しんで通っています	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	95.8%	4.2%			一生懸命指導して頂いているのは承知の上ですが、プログラミングのクラスなので、職員の専門性という面ではどちらとも言えないと感じました。 子どもの課題に対して、スモールステップで対応してれている。 どの先生がどの専門なのかを写真付きで掲示して頂けてるので、とてもわかりやすくなりました。 専門知識が全体的に高いと思います。アドバイス等がとても適切で子どもにも親にも分かりやすく感謝しております。	プログラミングを手段として活用しているため、各活動の専門性を高める予定は現在ございません。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	95.8%	4.2%				
	4	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				家庭や学校での様子を反映させて計画してくれている。 その時にあった活動を取り入れてくださりありがたいです。 支援計画について、こちら側の話をきちんと聞いて下さった上で細かな支援を考えて下さってるので助かっています。 どうしても家庭内では見落としがちなことを汲んでいただけるので満足しています。	
	5	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				その時々にあった支援内容となっている 室内外で体を動かしたり、工作やゲーム性のある遊び等、様々な活動をしてくれている。 体を動かしたり制作活動をするというだけでなく、焼き芋を作ったり、お買い物など、いろいろ考えて体験をさせて頂けてるので子供にとってもプラスになってると感じます。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8.3%	50.0%	41.7%		分からない。 個別指導で通っているので分かりません	
保護者への説明等	7	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	87.5%	12.5%			個別支援の内容や活用方法がよく分からない。	今後も丁寧な説明に努めていきます。
	8	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				連絡帳のやりとりや送迎の際に活動の様子をフィードバックしてくれている。 毎回お話しいただいております。 毎回丁寧なフィードバックと、何かあった際にその都度ヒヤリングして頂いています 日頃から連絡帳で詳細を教えて頂けてるのでとても助かります。 又、お迎えの際に子供がどんな感じだったのか直接やりとりさせて頂けてるので共通理解が出来ていると感じています。	
	9	保護者に対して面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95.8%	4.2%			日頃のやりとりで日常の些細なことも共有、相談できている。 困りごとが多いのでとても助かります。 面談という形はあまりありませんが、お迎えの際に何かあればお話をさせて頂いて助言等も頂けてます。	定期的な面談の実施も今後検討していきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか。	12.5%	54.2%	33.3%		送迎時に顔は合わせているが、個人的には保護者同士のつながりはできていない。 単独利用の為 全体を通した保護者会等はないですが、それぞれの保護者に対し真摯に対応してくださってると思うので満足しています。 あるかどうか分かりません。	今年度はコミュニティーの活動頻度が低く、保護者様同士の関係を構築できる場の提供が少なくなっていました。 来年度以降は継続した運営が行えるように計画をしていければと思っています。
	11	こどもや家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか。	83.3%	16.7%			そのような状況になったことがなく、分かりません。	
	12	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.8%	4.2%				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	50.0%	37.5%	12.5%			
	14	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95.8%	4.2%				
非常	15	事業所では、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。	82.6%	17.4%				

時 等 の 対 応	16	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練が行われていますか。	62.5%	37.5%			訓練については分からない。 参加したことがなくよく分かっておらずすみません。 今年度は災害用非常食の試食のご提供があり、子どもにとって実際に避難となった場合の練習になりありがたかったです。 避難訓練だけでなく、偏食がある子の為に、非常食のことを考えて試食させて頂けたのはとてもありがたかったです。 わからない	今後も実施内容や対応方法についてアナウンスをして参ります。
満 足 度	17	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%				活動の様子を楽しそうに教えてくれる。 とても楽しみに道順も覚えているほどです 違う学校や年代の子達と集い、活動することはとても良い学び、経験になっていると思います。 これからもよろしくお願いいたします。	
	18	事業所の支援に満足していますか。	100%				基本的には「はい」なのですが、可能であれば試験などを受けて目標をクリアする成功体験ができればいいなと思います。 課題や発達に合わせ支援をしてくださっている。職員の方も十分に配置されていて、子どもの様子をよく見ていると感じる。 支援の際の声かけや対応法など、こちらも勉強になることが多いです。	

事業所名		ステップアップスペースなっつ	公表日				2025 年 3 月 24 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		会社の規模が小さいため難しい点がある		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な研修会を実施している			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて掲載済み			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画書作成者が適宜支援に入り、利用時の状況把握に努めている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化された評価用紙や基準は設けられていない		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		1週間単位で実施する内容を変更している。また、1ヶ月を通して、全身運動や制作、考える活動等を体験できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	勤務時間の違いにより終了後の打ち合わせが難しいため、朝に昨日の内容も踏まえてのミーティングを実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		年度始まりからの利用が多いため、情報集中が難しい状態。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		事例がないため実施できていない。今後は必要に応じて対応する予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		時間的、人為的な余裕がなく、積極的には実施できていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		周辺に少なく、また、現在繋がりががないため交流の機会が持てていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		開催情報をうまく取得できていないため参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			コミュニティーをつくっているが、今年度の活動頻度が少なくなってきており、来年度移行の課題としている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		イベントへの参加が当事業所でのイベント開催が行えていないため、実施できていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			